

(図書館の配架の仕方を学び、本の紹介をする)

(1)年 活動名 すきなものおしえて

実践者 青木 あゆ子 子母口小学校

1.平成 18年 7月 11日 ~ 7月 13日

2.ねらい

気に入った本を選んで、紹介文や絵を描いて表現する。

学校図書館の配架の仕方を覚え、紹介する本の配架場所を地図に表す。

3.活動の流れ

活動及び取り組みの流れ	支援
<p>1.教科書に習って、「好きな本」を友だちに紹介しようと投げかける。</p> <p>2.学校図書館で、気に入った本を選ぶ。</p> <p>3.本の紹介文を宝の地図に書き表そうと投げかけ、絵本の配架の仕方(50音順)に並んでいることを教える。</p> <p>4.ワークシートに配架位置と紹介する本の題名、絵、気に入ったところなどを書いた作文を書く。</p> <p>5.感想を発表する。</p> <p>6.友だちの感想を聞いて、読んでみたい本の地図を借り、その地図をもとに読みたい本を探す活動を行う。</p>	<p>なかなか選べない子には、今まで読み聞かせした本などを想起させてみる。</p> <p>ワークシートの表には、図書館の机を山にグリーンのじゅうたんを平野に見立てた地図を印刷した。また、入り口を入れて(右に・まっすぐ・左に) 歩、(右に・まっすぐ・左に) 歩などを書き込めるようにしておいた。ワークシートの内側には、題名、絵、作文・感想が書き込めるようにした。</p> <p>うまく探せない児童には、個別に声をかけ、50音順の配架についてもう一度説明した。</p>

4.この取り組みによる成果

こどもたちは、学校図書館を森や山、平野に見立てて探検気分を楽しみ、同時に本の所在場所を明確に表そうとして配架の仕方を熱心に学んでいた。この実践で、1年生でも50音順の配架の規則が十分理解でき、自分で本を返すことができるようになった。